

2025. 4. 13 Sun

at Tokyo Opera City

Concert Hall : Takemitsu Memorial

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

助成：  文京庁

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会



<https://www.tkwo.jp/>



つくる。つつむ。つなぐ。

東京佼成ウインドオーケストラ

スペインの吹奏楽

Tokyo Kosei Wind Orchestra

第168回 定期演奏会 #168
SUBSCRIPTION
CONCERT



Imori Norichika

Principal Guest Conductor

PROGRAM | プログラム

モンセラット／F.フェルラン

[約6分半]

Mont Serrat / Ferrer Ferran

交響曲第2番／L.セラーノ・アラルコン

[約29分]

Second Symphony for Wind Orchestra / Luis Serrano Alarcón

第1楽章	荘厳に	I. Maestoso
第2楽章	活気に満ちて	II. Con vivacità
第3楽章	遅く	III. Lento
第4楽章	急速に	IV. Presto

休憩 Intermission [20分]

リベルタドーレス／O.ナヴァッロ

[約14分半]

Libertadores / Óscar Navarro

第1部	アマゾン川	AMAZONAS
第2部	リベルタドーレスたちの行進	Marcha de los Libertadores

エヌマ・エリシュ／J.スニャール＝オリオラ

[約23分]

Enuma Elish / José Suñer-Oriola

❗ 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール

首席客演指揮者

飯森 範親

Iimori Norichika

Principal Guest Conductor

©s.yamamoto

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。

国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、専属指揮者、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2014年、日本センチュリー交響楽団の首席指揮者に就任。2015年より世界的にも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏＆録音という一大プロジェクトを手掛け、2025年3月に完結させた。また、オペラでも高い評価を得ており、2024年は新国立劇場「コジ・ファン・トゥッテ」、藤原歌劇団「ピーア・デ・トロメイ」を指揮、2026年3月には新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」への出演が予定されている。

現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2025年4月より武蔵野音楽大学客員教授に就任し、後進の指導にも力を注ぐ。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

PROGRAM NOTES

曲目解説：中橋愛生 (TKWO楽芸員)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

フェルレル・フェルラン作曲

モンセラット

フェルレル・フェルラン（本名：フェルナンド・フェルレル・マルティネス）は、1966年にスペイン東部の街バレンシアに生まれた。15歳でピアノと打楽器の演奏でコンクール第一位を受賞するなど才覚を顕し、バレンシア高等音楽院に進学、ジェフ・ベンダースに作曲を師事した。作曲のほか、室内楽と伴奏でも学位を得ており、さらにイギリスに渡ってロンドンの王立音楽院で作曲と指揮のディプロマを修めた。その後はハンガリーでも学んだ後にスペインに帰国し、作曲家、指揮者、ピアニストとして幅広く活躍している。作曲作品は非常に数が多く、たくさんの賞を受賞、バレンシア交響作曲家協会の副会長の地位に8年間あった。指揮者としても国内外で活躍していてスペインはもとより様々な国で数多くの吹奏楽団の名誉指揮者の地位にあり、ベネズエラではシモン・ポリバル交響吹奏楽団の首席客演指揮者も務めている。教育者としての業績も優れており、カステリオン高等音楽院で20年間教えたのち、現在はバレンシア音楽院の主任教授も務めている。

とにかく多才なフェルランは吹奏楽分野でも数多くの作品を発表し、受賞歴も多い。世界吹奏楽協会（WASBE）のメンバーとして国際的にも活躍し、スペインの吹奏楽を世界に結ぶのにも大きな貢献を果たしている。「音楽は魂の鏡である」という信念の通り、その情熱的な音楽は強いインパクトを放っており、TKWOも2018年の第138回定期演奏会で演奏した『交響曲第2番《キリストの受難》』（2001）といった代表作は日本でもよく演奏されている。

『モンセラット』は2008年に作曲され、同年4月19日にフェルラン自身の指揮でパイポルタ・プリミティバ・バンダによって初演された（パイポルタはバレンシア州にある地名）。モンセラット（モンセラート）は、一般的にはバルセロナ近郊にあり黒いマリア像を持つ修道院があることで知られる山の名前を指す。だが、この曲は作曲の経緯としてモンセラ・サバテという女性への結婚47周年を記念した贈りもの（山と女性の名は同じ綴り）として作られたとのことで、一種の洒落のようなものなのだろう。「スペイン風幻想序曲」というサブ・タイトルが付けられている通り、とにかく陽気で明るい、スペイン情緒に溢れた作品だ。曲を支配する独特の3拍子のリズムは、スペインの民俗舞曲の一種「セグディーリャ」による。トランペットとサクソフォーンが重要なソロを担い、やがてデュエットになるのだが、ここには結婚を祝する意味もあるのかもしれない。

フェルランのwebサイトにはこの曲の初演時の動画が掲載されており、そこにはスペインの交響吹奏楽団にはよくある通り、チェロが編成に入った演奏となっている。しかし、出版譜にはチェロのパートは存在しておらず、出版時に削除したか、他のパートに重ねて演奏しているかのどちらかであろう。

ルイス・セラーノ・アラルコン作曲

交響曲第2番

ルイス・セラーノ・アラルコンは、1972年にフェルランと同じくバレンシアに生まれた。音楽は基本的に独学であるが、スペインの多くの都市にあるようにバレンシアにはアルティスティカと呼ばれる文化協会で日常的に音楽に接していた。アルティスティカは、街に住む音楽家たち（別に美術なども存在する）による互助会のようなものだが、プロからアマチュア、老若男女に至るまでが幅広く交流する場でもある。アラルコンは、ここでピアノやソルフェージュ、音楽理論や作曲理論を幅広く学んだ。また、アルティスティカが擁する吹奏楽団の演奏に幼い頃から親しんできたことも、その後のアラルコンの音楽に大きな影響を与えている。バレンシアの温暖な地が生んだ作曲家、と言えるだろう。現在はバレンシアにあるトレント高等音楽院でアナリーゼと作曲も教えている。

その作品は、本人のwebサイトの作品リストを見ると、管弦楽曲が2曲、室内楽曲が数曲あるが、多くが吹奏楽作品である。アラルコンは自身の吹奏楽作品をさらに「交響吹奏楽作品」と「パソ・ドブレ（スペインの民俗的舞曲）」に大別し、異なる作風として書き分けているようだ。アラルコンは2006年から吹奏楽団の指揮者としても活動を開始しており、2009年には世界吹奏楽会議（WASBE）にも指揮者として参加している。その経験から生まれた吹奏楽作品は説得力に満ちており、2006年にイタリアで行われたコルチャーノ国際吹奏楽作曲賞で『金管五重奏と吹奏楽のための《アルバの前奏曲と舞曲》』で最優秀賞を受賞、2009年にも『歩哨の女』で同賞を得て注目を集めるようになる。2011年には『Duende（精霊）』により、スペイン芸術音楽科学アカデミーが毎年授与する国民音楽賞の最優秀クラシック作品賞を受賞した。こうした数々の業績により、2011年から2013年まで、アラルコンはWASBEの理事にも選出されている。現在までに作品は30カ国以上で演奏されており、世界各国の吹奏楽団体から作曲の委嘱を受ける存在となっており、日本でも『インヴォカシオン（祈り）～「エル・プエルト」を元にして』（2017）によって急速に注目を集めるようになったのは記憶に新しい。アメリカなど様々な国からの委嘱によることが多いためか、スペインの作曲家の吹奏楽作品としては珍しくチェロを必要としない曲がほとんどであることも、人気の理由の一つだろう。吹奏楽のための交響曲はこれまでに3曲が発表されており、アメリカの14の大学からの共同委嘱で作られた『第1番』は2013年に、日本の洗足学園音楽大学の委嘱により作られた『第3番』は2024年に、それぞれ初演さ

れている。

そして、この『第2番』は、2017年にアメリカ・ミネソタ州のセント・トーマス大学の委嘱によって作られ、同年5月7日にマシュー・ジョージ指揮の同大学シンフォニック・ウインド・アンサンブルによって初演されたもの。元々はピアノを通じて音楽への深化を進めてきたアラルコンにとって、音楽的なルーツは古典派やロマン派の音楽、特にロシアの大作作曲家たちの作品にあるという。そのロシアの巨匠たちへのオマージュとして構想されたのが、この『交響曲 第2番』。チャイコフスキー、ボロディン、ラフマニノフといったロシアの作曲家たちの音楽、特に交響曲から得たインスピレーションで作られているが、直接的な引用は無く、あくまでもその香りを漂わせるアラルコン自身の音楽となっているのが興味深い。また、ロシアだけではなく、ブラームスやマーラーといったドイツ音楽、グリーグのような北欧の響き、さらにはマスランカのような現代アメリカの楽器用法など、アラルコンに影響を与えた様々な作曲家の陰が見え隠れする。それは、この曲に限らず、アラルコンの創作全般に共通する、クラシック音楽の延長線上に自らを置く姿勢の顕れであろう。全体のフォルムとしても、古典的な4楽章形式が採られている。

第1楽章:Maestoso(荘厳に)

ハ短調的な性質を持ち、マーラー『交響曲 第5番』を思わせるトランペットの動機で開始される小規模なソナタ・アレグロ形式。

第2楽章:Con vivacità(活気に満ちて)

同じくソナタ・アレグロ形式で作られたスケルツォ的楽章。ロシアをイメージした旋律線が印象的。

第3楽章:Lento(遅く)

ハ短調の平行調である変ホ長調による緩徐楽章。アラルコンによると「チャイコフスキーへのオマージュ」。

第4楽章:Presto(急速に)

前楽章よりアタックで開始されるロンド形式によるフィナーレ。終盤に第1楽章冒頭の動機が回帰する。



オスカル・ナヴァッロ作曲

リベルタドーレス

オスカル・ナヴァッロは、1981年にバレンシア州アリカンテ県にある街ノベルダに生まれた。小学生のときに音楽に出会い、高校修了時に特別賞を受賞、アリカンテにあるオスカル・エスプラ高等音楽院でクラリネットを学んだ。そこで室内楽の編曲などをするうちに作曲に目覚め、バレンシアのアレグロ国際音楽アカデミーに進学し作曲と指揮を専攻、フェルレル・フェルランに師事している。さらに奨学生に選ばれて渡米、ロサンゼルスにある全米屈指の難関校として名高い南カリフォルニア大学に入学し映画とテレビのための作曲を学び、奨学金付きの優秀な成績を修めて卒業した。その後はロサンゼルスでワーナー・ブラザーズなど様々なスタジオでレコーディングに従事、たくさんの映像音楽を手掛けて多数の作曲賞を受賞するなど高い評価を受けている。2016年には自身の名を冠したオスカル・ナヴァッロ交響楽団というオーケストラを編成、自身の作品のみによるコンサートやレコーディングも開始、楽譜の出版も行なっている。その作曲活動と並行して教育活動にも意欲的で、アメリカとスペイン、さらにはコロンビアなど世界各国で講演やマスタークラスを実施している。映像音楽だけではなく純音楽も精力的に発表しており、オーボエ協奏曲『レガシー』(2015)はTKWOも吹奏楽伴奏版を2018年の第137回定期演奏会で演奏している。

吹奏楽作品も多いナヴァッロの『リベルタドーレス』は、2010年にアリカンテ県の街アルテアで行われた第39回ヴィラ・デ・アルテア国際音楽コンクールのファースト・セクションの課題曲として、アルテナ・フィルハーモニー協会が委嘱した交響詩。タイトルは「解放者たち」という意味で、これは19世紀初頭に南米諸国をスペイン帝国からの独立に導いた英雄たちのことを指す。スペインで生まれてアメリカで学んだナヴァッロが、スペインから南米諸国を独立させた英雄たちを題材にした曲を、スペインのコンクールの課題曲として作る、というのも大胆であるが、曲自体もなかなか大胆な仕掛けが満載でドラマチックだ。卓越した映像音楽のセンスを持つナヴァッロだけに、描写的でスペクタクル溢れる音空間が立ち昇る。曲は2つの部分で構成されている。なお、曲の編成のなかには、スペインの交響吹奏楽団の編成に合わせ、チェロが含まれている。この曲、ナヴァッロもお気に入りなのか、管弦楽版も後に作られた。

第1部:アマゾン川

アマゾン川流域の森の風景や、そこに住む先住民民族たちの姿が描かれる。部族の人々の詠唱を模倣するための仕掛けをご覧あれ。

第2部：リベルタドーレスたちの行進

南米独立解放の代表的英雄、シモン・ボリバルとホセ・サン・マルティンの2人をモチーフに、ファンファーレを伴う行進が描かれる。文字通り、人々は立ち上がり、行進する。

ホセ・スニャール=オリオラ作曲

エヌマ・エリシュ

ホセ・スニャール=オリオラは、1964年にバレンシアの北にある村エル・ブイグ・デ・サンタ・マリアに生まれた。バレンシア高等音楽院で打楽器、和声、対位法、アナリーゼを学び、フリオ・リベレスに指揮と作曲を師事している。世界各地の音楽祭に参加するなどして研鑽を積み、意欲的に作曲と指揮を行ない、現在はスペイン各地の管弦楽団や吹奏楽団の指導に従事、街の音楽協会の監督なども務めている。作曲家としては吹奏楽作品を中心に発表しており、WASBEの会員ともなっている。2006年にTKWOが実施した「第1回東京佼成ウインドオーケストラ作曲コンクール」には作品『室内交響曲 第1番』を出品し、最も団員の支持を集めた曲に贈られるフレデリック・フェネル特別賞を受賞している。なお、この曲は2008年にフランスで開催された「クー・ド・ヴァン国際交響吹奏楽作曲コンクール」にも出品され第3位となりSACEM賞（フランスの音楽著作権協会から贈られる賞）を受賞したのち、2009年のバレンシア市国際吹奏楽コンクールのファースト・セクションの課題曲に採用され、2020年に改訂されている。また、スニャール=オリオラは2009年にはニューヨークで行われた第2回フランク・ティケリ作曲コンクールのファイナリストにも選出されている。

スニャール=オリオラの作品は神話を題材にしたものが少なくない。今回演奏される『エヌマ・エリシュ』も同様だ。この曲は、2022年にバレンシア州の街トレントにあるトレント音楽協会（ウニオ・ミュージカル・デ・トレント）の創立50周年を記念して作られ、フランク・デ・ヴェイスト指揮の同音楽協会交響吹奏楽団によって初演された。『エヌマ・エリシュ』とは、古代シュメール人（楔形文字などを発明したメソポタミア文明の担い手）が伝えた世界創造に関する「シュメール神話」の叙事詩のことで、バビロニア創世記の基となったもの。粘土板に刻まれたアッカド語による叙事詩の出だしがこの言葉で開始されており、この言葉だけでは「そのときに」という意味になる。ここから始まる一大叙事詩を音楽で順に追っていったのが本作、というわけだ。極めて描写的、いわば劇伴的な音楽と言えるが、見事なのはそのオーケストレーション。楽器の様々な用法（チェロを含む）を駆使して、極めて独創的な音響・音色で、時に幻想的に、時に諧謔的に、時に激情的に、鮮やかな世界が生み出

されていく。創世記の内容に詳しい日本人はそれほど多くないと思われるので、スニャール=オリオラが自身の楽曲の進行次第として書いた内容を以下に記しておくが、願わくばこれを「聴きながら読む」のではなく、事前にご一読頂き頭に入れたうえで、演奏中は鑑賞に集中していただきたい。

天が高きところにある時、空には名が無く、乾いた大地の下にもまた名が無かった。

天と地が存在する前、塩水の女神ティアマトとその夫で淡水の神アプスは神々の一族を生んだ。やがて生まれたイアは他を凌駕し、神々の中で比類なき存在となった。

これらの新しい神々の多くは、叫び、踊り、アプスの機嫌を損ねた。そこでアプスは彼らを一掃することを計画した。ティアマトは嘆いた。しかし、アプスは息子のムムーに励まされ計画を実行することにした。アプスの決断は神々の耳に届き、恐怖に包まれた。イアは呪術によってアプスを眠らせ、ムムーを捕らえて殺した。そして、アプスの亡骸の上に自分の宮殿を築いた。その宮殿で、イアの妻はマルドゥクを宿した。成長し強くなったマルドゥクを祖父アヌは誇りに思い、全てを授けた。

しばらくして、ティアマトは夫の死を恨み、一部の神々に扇動され復讐を決意した。反乱を起こした神々を一掃するため軍を用意した。また、息子のキングーを夫として迎え、軍の指揮を任せ、全ての神を畏怖させる石板を与えた。

ティアマトの計画を知ったイアは、祖父アンサールに知らせに行った。イアとアヌの失敗の後、アンサールは運命を決定する神々を集め、宴会を開き、マルドゥクを復讐者に任命した。マルドゥクは戦いの準備をし、ティアマトの内臓を捕らえる網を手に入れ、嵐の四つの風をつかまえた。最後4頭の馬に引かせた戦車を用意し、ティアマトを迎え撃った。

ティアマトは呪文を唱えたが、マルドゥクは嵐を浴びせティアマトの残酷さと戦争のための行動を非難した。激怒したティアマトは突進するも、マルドゥクは網で彼女を捕らえる。ティアマトが口を開け立っている間に、ティアマトの軍勢は散り散りになり、キングーは捕虜となる。マルドゥクは石板を自分のものとした。マルドゥクはその後、優しい生き物「人間」を創造する。労働から解放された神々はマルドゥクを称える聖域バビロンを建てた。

〈敬称略〉

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022

年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル

常任指揮者 …… 大井剛史

特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者 …… 飯森範親

楽芸員 …… 中橋愛生

指揮 …… 飯森範親

演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太

Flutes …… 前田綾子、白石法久

Oboes …… 宮村和宏^{*}、桜田昌子

EnglishHorn …… 宮川真人

Bassoons …… 福井弘康^{*}、坪井祐樹

ContraBassoon …… 大内洋介

Clarinet in E b …… 松生知子

Clarinet in B b …… 大浦綾子、林裕子^{*}、野田祐太郎、
船橋菜里、木内倫子、後藤榛花、
近野千昌、徳武敦、福井萌

AltoClarinet …… 竹内末緒

BassClarinet …… 大橋裕子

ContraBassClarinet …… 原浩介

SopranoSaxophone …… 林田祐和(AltoSaxophone)^{*}

AltoSaxophones …… 五十嵐健太、江川良子

TenorSaxophones …… 松井宏幸、田村真寛

BaritoneSaxophone …… 栃尾克樹

Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
本間千也^{*}、河原史弥、清川大介、
森山一輝、若林万里子

Horns …… 堀風翔^{*}、小助川大河、小山千鶴、
赤坂和之、幸喜いずみ

TenorTrombones …… 今村岳志^{*}、安久津理子、
伊藤大智、笠間勇人

BassTrombone …… 大関一成

Euphoniums …… 岩黒綾乃、鎌田裕子

Tubas …… 池田佑太、松本匡偉

Contrabasses …… 前田芳彰、寺田和正

Timpani …… 坂本雄希

Percussion …… 和田光世、菊本歩、木下卓巳、
小林公哉、定成庸司、市東章代、
土屋吉弘、前田秀明、村瀬芽生

Harp …… 神谷朝子

Piano …… 神原颯大

Cellos …… 増山頌子、若狭直人

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 …… 勝川本久

常務理事 …… 八反田弘

専務理事 …… 堀風翔

監事 …… 清水宏一

事務局

事務局長 …… 勝川本久

事務局次長 …… 堀風翔

事務局長補佐 …… 八反田弘

制作

篠原華

大橋証太(ステージマネージャー)

羽田紀子(ライブラリアン)

広報

尾崎真也

荻沼美帆(チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

営業

森ゆかり

総務

佐原由起

竹内正道

経理

竹内正道

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2025年4月1日現在)

法人会員

特別会員 (株)佼成出版社

維持会員 エーユーツーリスト((株)アコード) 名古屋 宗次ホール

賛助会員 株式会社アシストジャパン アトリエ・エム株式会社
遠藤製作所 遠藤悦治 株式会社CAFUAレコード
管楽器専門店ダク 鈴木住地(有)
株式会社全音楽譜出版社 立花産業(株)
中央鉄鋼 有限会社 フォスターミュージック株式会社
株式会社プリマ楽器 みずほ証券株式会社
柳澤管楽器株式会社

個人会員

特別会員 天野 正道 加賀美 猛 田中 淳子 林 正作
久末とまこ 古沢 秀明 ミーゴ 山内 幸人

匿名8名

維持会員：160名 / 賛助会員：89名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポートーズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポートーズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters

PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2025年4月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレーン株式会社 広島本社
ブレーン株式会社 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ クラリネット ショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
ヤマハミュージック 横浜みなとみらい
株式会社 池袋音楽学院
株式会社CAFUAレコード
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店 テオバルト
アトリエ・エム株式会社
インパシ楽器 横浜店

フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィンズスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整 浅香工房
葡萄房 by THE CAMEL
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大栴
海鮮食堂余市
おぐセンター
ワイン酒場トンマーズ
小林メディカルファミリー薬局
天ふじ
立花産業株式会社
方南町 共立薬局
御菓子司 大和や

▼個人のお客様

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただませんか？
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。



東京佼成ウインドオーケストラ 公演情報

ファンタスティック☆クリスマス2025

2025年 **12月19日** [金] 開演19:00

サントリーホール 大ホール

指揮：松井慶太



課題曲コンサート2026

2026年 **3月23日** [月] 開演19:00

東京芸術劇場コンサートホール

指揮：大井剛史(常任指揮者)



新 楽 団 員 挨 拶

ホルン奏者 小山千鶴

Chizuru Koyama, *Horn*

本日は第168回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。2025年2月よりホルン奏者として入団いたしました小山千鶴と申します。私は小学校の吹奏楽部でホルンを始めた頃からTKWOの演奏をたくさん聴いてきました。憧れていた伝統ある楽団の一員として演奏ができることを心より嬉しく思います。

これからTKWOの素晴らしい奏者とそれを支える事務局の皆さんと共にたくさんの音楽を皆様にお届けすることができると、とても楽しみで心が弾む思いです。

素晴らしい音楽をより多くの方にお楽しみいただけるよう、奏者としてより一層精進して参ります。これからどうぞよろしくお願いいたします。



Tokyo Kosei Wind Orchestra 2025-26 Season Concert Schedule 定期演奏会スケジュール

第169回 定期演奏会

2025年 **6月25日** [水] 開演19:00(開場18:15)
東京オペラシティ コンサートホール タケミツメモリアル

指揮 **トーマス・ザンデルリンク** (特別客演指揮者)



S席:¥7,500 A席:¥6,000 B席:¥4,500 C席:¥3,500 U25:¥2,500 ■好評発売中

第170回 定期演奏会

マスランカ・チクルス Vol.3

2025年 **9月28日** [日] 開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 **大井剛史** (常任指揮者)



S席:¥6,500 A席:¥5,000 B席:¥4,000 C席:¥3,000 U25:¥2,500 ■発売日:調整中

第171回 定期演奏会

2025年 **11月23日** [日] 開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 **ダグラス・ボストック**



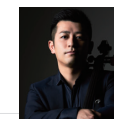
S席:¥7,500 A席:¥6,000 B席:¥4,500 C席:¥3,500 U25:¥2,500 ■発売日:調整中

第172回 定期演奏会

2026年 **1月11日** [日] 開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 **大井剛史** (常任指揮者)

独奏 宮田 大(チェロ)



S席:¥6,500 A席:¥5,000 B席:¥4,000 C席:¥3,000 U25:¥2,500 ■発売日:調整中

定期会員券 好評発売中

2025-26シーズン定期演奏会を同じお席でお得にお聴きいただけます！

席 種		S席	A席	B席	C席	U25
東京芸術劇場シリーズ(全3公演)		¥14,000	¥11,500	¥9,000	¥7,500	¥6,000
第170回～第172回						

好評発売中

Original goods

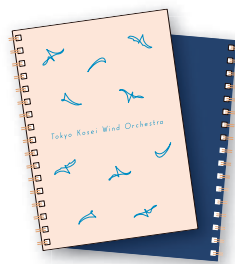
TKWO オリジナルグッズ



クリアファイル



Tシャツ



リングノート



トートバッグ



アクリルキーホルダー



缶バッチ



東京佼成ウインドオーケストラ
60年史

ほかにも多くの商品を
ご用意しております。



ご購入・詳細はこちら

TKWO 吹奏楽カフェ



定期演奏会に先立ち、大井剛史(常任指揮者)&中橋愛生(楽芸員)が、公演の演奏曲や作曲者にまつわるエピソードなど、通常の楽曲解説とはひと味違う視点から語ります。ここでしか聞くことのできない会場限定の裏話などもございます。大井&中橋の軽快なトークを、ぜひ会場でお楽しみください!

第6回

2025年 5月19日[月] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」 最寄駅「新大久保」駅

料金 2,500円(税込) 詳細はオフィシャルサイトをご確認ください

■ 共 催: 管楽器専門店ダク

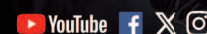


Vincent Bach — The Art of Sound



NONAKA

いい楽器をあなたのもとへ



総発売元 株式会社ノナカ 総輸入元/製造元 野中貿易株式会社 231-0011 横浜市中区太田町4-46 www.nonaka.com

Nonaka Winds

中小編成向け吹奏楽曲の
楽譜レンタルサービス
「ノナカ・ウインズ」



Suite Souvenirs
組曲スーヴェニール
作曲: 天野 正道



横浜市消防音楽隊による
参考演奏動画を
ご覧ください。



奏でよう
新しいハーモニー

JAPAN BAND CLINIC

Presents
スペシャルコンサート

会場 / アクトシティ浜松

2025.
5.17[±] 11:00~18:00

【主催】日本バンドクリニック委員会
【共催】公益財団法人浜松市文化振興財団、
全日本小学校管楽器教育研究会、
株式会社ヤマハミュージックジャパン
【後援】浜松市、浜松市教育委員会、
吹奏楽関係団体（各申請中）

©(株)フォトライフ



JAPAN BAND CLINIC Presents スペシャルコンサート | 大ホール 詳細は公式ページへ japanbandclinic.com >>>

第1部

13:00~14:00 (60分)



札幌市立札幌緑小学校スクールバンド
【指揮】小西 正一郎



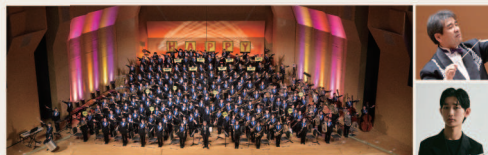
千葉県立幕張総合高等学校シンフォニックオーケストラ
【指揮】伊藤 巧真 【パーカッション】関 聡(スペシャルゲスト)

第2部

14:30~15:40 (70分)



さいたま市立土屋中学校吹奏楽部
【指揮】浅井 加奈子



愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部
【指揮】伊藤 宏樹 【トランペット】児玉 隼人(スペシャルゲスト)

第3部

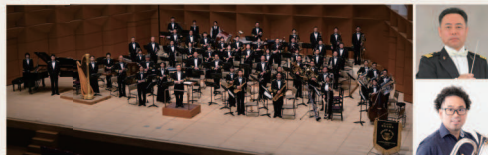
16:00~16:45 (45分)



オハイオ州立大学ウィンド・シンフォニー
【指揮】ラッセル・C・ミケルソン

第4部

17:15~18:00 (45分)



海上自衛隊東京音楽隊
【指揮】植田 哲生 【ユーフォニアム】安東 京平(スペシャルゲスト)

チケット料金(税込) 全席自由

【一般】¥5,000 【大学生・専門学校生】¥2,000 【高校生以下】¥1,000

※チケットのご提示で講座等もご参加いただけます ※未就学児童入場不可

申込方法

- チケットぴあ t.pia.jp [Pコード295-873]
- HCFオンラインショップ <https://www.hcf.or.jp> (PC・スマートフォン・タブレット対応)
- アクトシティチケットセンター(店頭販売のみ 10:00~19:00)



校成出版社
音楽出版室
1977 - 2010
KOSEI PUBLISHING COMPANY



KOSEIレーベルを 音楽配信サービスで

iTunes、Apple Music、Spotify、Amazon Music、LINE MUSICを
はじめとする各音楽配信サービスにて1000曲を超える楽曲を好評配信中！
1979年の初リリース以降、ポジティブに、かつ体系的に送り出されたコンテンツは、
質・量ともに他の追従を許さない。世界に類例を見ない吹奏楽曲の数々を配信で！

主な配信サービス



iTunes



Spotify



Amazon Music



LINE MUSIC

LINE MUSIC

株式会社 校成出版社
〒166-8535 東京都杉並区和田2丁目7-1 普門メディアセンター
03-5385-2311(代表)

電子書籍ECサイト
ちえうみ

